

【山行報告】 八ヶ峰 (800m)

1.山域・参加者

期 日：2021年4月2日(金)

山域・山名：京都北山・八ヶ峰 (800m)

山行形態：軽ハイキング

メンバー：K岡、I田、I藤 (報告者)

気象状況：晴れのち曇り (尾根筋は風がやや強し)

2.行動記録

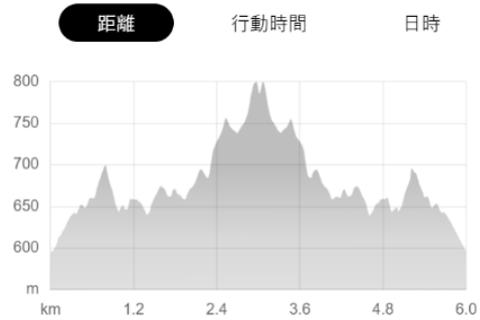
近鉄高の原 (6:10) ~京滋/第二京阪/京都縦貫~園部 I / C ~

R19/R38~五波峠 8:10 着

車移動時間/距離：2H/123 k m

五波峠発 (8:26) ~八ヶ峰 (10:00/11:00) ~五波峠 (12:21)

行動時間：3H55 歩行距離：5.8 k m 累積標高差：512m



3.概要報告

山行記録にあげるには気恥ずかしいハイキング。京都北山の山歩きを始めて低山ではあるがルート面白さに惹かれて数回山行を重ねてきた。

今日は若狭と丹後の県境の若丹国境尾根のひとときわ高いピークの八ヶ峰。山頂から「若狭の八ヶ国を見わたせる峰」が山名の由来で眺望は抜群という。普通



なら山麓から歩き始めるのだがラッキーなことに立派な林道が五波峠まで上がっている。

その林道を利用して峠まで車で上った。



た。峠には2メートル以上もある立派な「五波峠」と彫られた自然石の標柱があり駐車スペースもある。

峠からは緩やかなアップダウンを繰り返しての尾根筋歩きだ。「森林浴の森日本100選」のブナやナラなどの高木の原生林が続いている。山頂手前には赤松の木もあった。積もった落葉を踏む音が「カシャカシャ」と心地よい。一汗かく間もなく山頂についてしま

った。

展望のいい山頂で暖かい陽光を浴び、北山の峰々の山座同定をして早い昼食を済ませて下山した。

ハイキングとともに由良川沿いの満開の桜が素晴らしかった。集落の周辺や山間部に点在するさまが、日本の原風景である。特に美山町芦生地域辺りは、かやぶき屋根の古民家の集落があり桜が見ごろで楽しいドライブとなった。

